

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991600071		
法人名	株式会社 奉伸		
事業所名	グループホーム「アルプスのなかまたち」		
所在地	山梨県南アルプス市桃園345-5		
自己評価作成日	平成29年10月12日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成29年11月13日(月)		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「奉仕してのぼす新しい介護」をスローガンに施設全体で目標を立てて運営しております。利用者様が中心となり1日の活動に取り組むことで、役割を持った生活の実現が出来るよう、また認知症になってからも生き甲斐の持てる生活が出来る様に職員一同頑張っております。1日の家事(野菜の皮むきや、お茶碗拭きなど)の他、体操やアクティビティ、お散歩など体を動かすこと、皆で話をする事、頭を使うことなど取り組んでいます。そのため、1日の充実した生活が出来ていると思います。また、とても話し声や笑顔が多い施設になっております。個々の利用者様の能力や好きな事を見極め引き出していく個別介護に力をいれていて、それによって利用者様の自信がつくことで介護予防に繋がる介護を目指しております。また毎月のイベント開催、お誕生日会の開催にとても力を入れております。今年から利用者様の体調管理の為に介護ロボットも導入しました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近くに大きな病院やショッピングセンターのある国道沿いの事業所である。開所に向け多くの施設を見学して参考にしたという木造平屋の2ユニットの建物は、明るく清潔感があり、使いやすく工夫されている。リビングから出られる中庭は、花や野菜が植えられ解放感があり外気浴にも適している。「奉仕して伸ばす新しい介護」をスローガンに開所した管理者の熱い想いは、職員と共に利用者へのごく自然な支援の中に表れている。開所してから4年になるが、「利用者が人生の先輩であることを忘れずに一人ひとりを尊重する」という理念のもとで、利用者が自宅での生活と変わりなく過ごせるように家庭的な雰囲気の中で暮らしの継続が出来ている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、常に見える場所(キッチン)に貼って、個々の利用者様が役割を持ってごせるよう援助が出来ていると考えています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員が一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	地域密着型サービスの意義をふまえ、職員みんなで事業所の理念を4項目作り、職員同士が共有し、常に見える場所(キッチン)に貼って、個々の利用者様が役割を持ってごせるよう援助が出来ていると考えています。利用者様方も会話も多く、利用者様と職員が一緒に楽しく過ごせる事を大切にしていますので笑顔もたくさん見られています。	事業所理念は、開所半年後に管理者と職員とで話し合い決めた。毎月の職員会議や日々の支援の中で問題点が生じた時は、必ず理念に立ち戻って考えている。利用者は人生の先輩であることを忘れずに一人ひとりを尊重する個別介護を実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	市内の方々のよる月一回のイベントや、ご近所へお散歩に行き、お庭を見せていただいたり、お鏡頭屋さんと一休みしたり、地域の方とお話をしたり、地域の一員として利用者様には暮らしていただけていると考えています。また、ホームの花壇にはご近所様がお花や外灯を寄付して下さったり、草取りをして下さったりと綺麗にしてくださっています。自治会にも加入し、事業所の入り口に地域の地図も取り付けていただいております。	散歩に出かけた際、ご近所のお鏡頭屋さんと一休みしたり、ご近所様のお庭を見せていただいたり、地域の方とお話をしたり、地域の一員として利用者様には暮らしていただけていると考えています。また、ホームの花壇にはご近所様がお花や外灯を寄付して下さり、利用者様と一緒に季節のお花などを挿えてくれたりして、綺麗にしてくださっています。自治会にも加入し、事業所の入り口に地域の地図も取り付けていただいております。	自治会員として、地域の募金や寄付には積極的に協力している。近くの病院の祭りに参加したり、寸劇・カラオケ大会・大正琴の演奏・フラダンス等毎月ボランティアの訪問があり家族と共に楽しんでいる。習字教室に通う生徒の作品を事業所内に貼り、子供達が見に来る等地域との交流は日常的にある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の認知症を抱えたご家族の集まりにタイアップし、施設で取り組んでいる認知症の方への対応などを発表できる機会を検討している。また、日中デイサービスを活用できていない認知症を抱えたお年寄りのサテライト的な場所として、当施設を活用したいと考えております。地域の方々の歌や寸劇、ダンスなどの披露の場としても提供させていただいております。	地域の認知症を抱えたご家族の集まりにタイアップし、施設で取り組んでいる認知症の方への対応などを発表できる機会を検討している。また、日中デイサービスを活用できていない認知症を抱えたお年寄りのサテライト的な場所として、当施設を活用したいと考えております。地域の方々の歌や寸劇、ダンスなどの披露の場としても提供させていただいております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設で起きている問題を運営会議の都度、議題として、積極的に意見交換及び改善の報告が出来ていると思います。また、好転した対応策などを民生員様方が地域に戻り暮らすの家庭を訪問された時のアドバイスを役立てて頂ければと考えています。	施設で起きている問題を運営会議の都度、議題として、積極的に意見交換及び改善の報告が出来ていると思います。また、好転した対応策などを民生員様方が地域に戻り暮らすの家庭を訪問された時のアドバイスを役立てて頂ければと考えています。	2か月に1回偶数月の20日と決めて午後5時から開催している会議には、地域の民生委員2~3名の参加がある。家族は、交代制で全員が参加できる機会を作っている。食事についての質問では「あまり考えすぎず家と同じ様な食事で良いのではないかと参加者から意見をもらい参考にしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換をしながら、施設で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告しながら、意見を仰いだりし、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策と考えております。また施設内で起きた特別な事例は、こちらから市役所の介護福祉課の方へ連絡をして報告させていただいております。	基本は2か月に1回の運営推進会議での提案や報告のやり取りが中心となりますが、お互いに意見交換をしながら、施設で現在発生している問題への対応策及びその反応を継続報告しながら、意見を仰いだりし、南アルプス市における認知症を抱えた方への対応策と考えております。また施設内で起きた特別な事例は、こちらから市役所の介護福祉課の方へ連絡をして報告させていただいております。	利用者の個々の対応や職員の異動、家族との対応などについて気軽に相談しアドバイスを受けている。また、手話にてコミュニケーションをとる利用者の為に、市職員を講師に招き手話の指導をしてもらうなど協力関係がつけられている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行えています。玄関の施錠は勿論、各扉の施錠は無く、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。	職員には徹底教育し、「身体拘束0」をスローガンに行えています。玄関の施錠は勿論、各扉の施錠は無く、スピーチロックにも意識付けを行い、利用者様方がのびのびと過ごせる施設づくりに取り組んでいます。	開所時から「身体拘束ゼロ」を掲げている。日中は施錠しないで開放しており、玄関まで来た利用者は一緒に歩き会話しながら気分転換を図り、納得してから事業所に戻る対応をしている。スピーチロックについては、人生の先輩であると意識して会話している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修に参加し、参加した際は報告書として開示し、職員全員で共有する様にしています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも細心の注意を払って虐待防止に努めています。	学ぶ機会としては、最近、高齢者虐待に関する研修に参加し、参加した際は報告書として開示し、職員全員で共有する様にしています。また職員会議にて概要を話しています。事業所内でも細心の注意を払って虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、新しい職員にも理解できるように職員会議で概要を話したりしています。	全ての職員が理解できるように、研修で学んだものを報告書として開示したり、職員会議で概要を話したりしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に職員と利用者様のご家族とで一緒に契約書と重要事項説明書を読んで、十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、質疑応答をしておくことで理解納得を得ていると考えております。今迄、契約に関しては、特に問題になることはありませんでしたが、今後、該当する事項が発生した際は、再度ご家族に説明を行いながら納得して頂ける様対応して参ります。	契約時に職員と利用者様のご家族とで一緒に契約書と重要事項説明書を読んで、十分な説明を行い、不安や疑問点の解消も含め、質疑応答をしておくことで理解納得を得ていると考えております。今迄、契約に関しては、特に問題になることはありませんでしたが、今後、該当する事項が発生した際は、再度ご家族に説明を行いながら納得して頂ける様対応して参ります。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己評価		外部評価	
項目	自己評価(実践状況)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けています。投稿は今までありませんが、ご家族が来所の際に良く話す中で会話の中から引き出すよう心がけています。また得た意見を施設内で検討し、対応するとともに、取った対応策を後日必ずご家族にお伝えするようにしています。	家族の面会は多いが運営に関する意見は特にない。管理者の自宅が事業所に隣接してある事や職員も地域との馴染みがある人達なので、利用者家族からは気軽に話があり早めの対応に心がけている。毎月事業所の取り組み状況と共に担当職員からの日常の様子を添えた便りを家族に送っている。
11	(7) ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が代表者及び管理者に意見を言いやすい関係作りを心がけ、その都度意見を聞くようにしています。特に職員全員が代表者や管理者に直接連絡が取れ、相談や意見が出来る様な関係にあります。また、職員会議の場でも代表者、管理者、職員の間で、意見交換を行っています。	勤務体制・給与関係・有給休暇の希望など気軽に管理者に話せる関係が出来ている。物品購入書はあるが職員からは口頭での依頼が多い。対応の難しい利用者については、病院に受診して良い結果となった。管理者は、常に職員との温度差がない様に心がけている。
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の努力や実績を考慮し、今年度から取り入れたキャリアアップ表に照らし合わせて給与に調整しています。またなるべく労働時間に無理が無く、やりがいが出ない様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員みんなが助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境での運営が出来ていると考えています。やりがいをと、月毎のイベントの行事担当やお誕生会の日を、職員が二人一組になり担当者になって順番に任せています。	代表者は職員の努力や実績を考慮し、今年度から取り入れたキャリアアップ表に照らし合わせて給与に調整しています。またなるべく労働時間に無理が無く、やりがいが出ない様、勤務時間が不規則で大変ですが、職員みんなが助け合い、向上心とやる気を持って働ける職場環境での運営が出来ていると考えています。やりがいをと、月毎のイベントの行事担当やお誕生会の日を、職員が二人一組になり担当者になって順番に任せています。
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、動きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にとても理解があり積極的で、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。介護のケアについての勉強会もケアマネを中心に今までよりも沢山開催していく予定です。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にとても理解があり積極的で、研修の際も職員個々の参加希望を大切にシフトを構成しています。参加した職員には報告書や職員会議にて概要を報告してもらっています。また、平素より介護技術で疑問に思う事、目に付いたことは体感できるように、施設内で資格保持者のもと随時指導しています。介護のケアについての勉強会もケアマネを中心に今までよりも沢山開催していく予定です。
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にとても理解があり積極的で、職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。	代表者は管理者や職員が研修や資格を受ける事にとても理解があり積極的で、職員に協会主催の研修などに参加してもらい、参加した際個々の交流をしたりして、ネットワーク作りから、サービスの向上をする取り組みを出来る限りしています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訴えることが出来ない利用者様に対しては会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所づくりに努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。	訴えることが出来ない利用者様に対しては会話の中にある声なき声に気を配りながら、ご家族と一緒に検討することで、ご本人の要望に近いものを提供できるよう努めています。また、ご本人の役割を早く見つけることでご本人の居場所づくりに努め、安心して過ごせるよう援助を心掛けています。
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに搭合せ、サービスの提案をしています。また、入居後も積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見守れる様に努めています。その成果か入居後落ち着いた様子で過ごせる方が殆どです。	サービスを導入する前の初期の段階で、ご本人から聴取したこと、様子をご家族に報告、説明し、ご家族の意見や訴えに搭合せ、サービスの提案をしています。また、入居後も積極的に面会をしていただくことで、入居後の変化を一緒に見守れる様努めています。その成果か入居後落ち着いた様子で過ごせる方が殆どです。
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、折り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応なども行っています。アレルギーのある方にもその方だけ食事のメニューを実現したりして対応しています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。	初期の対応として、入居者様個人と、ご家族の両方の意見要望に耳を傾け、折り合わせ、サービスを導入を検討しています。ご本人やご家族の意向から、医療保険を活用した訪問マッサージ、職員による病院への受診対応や、食事の個別対応なども行っています。アレルギーのある方にもその方だけ食事のメニューを実現したりして対応しています。また施設内での美容室、歯科などの対応も行っています。
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活全般で、利用者の方々が残存機能により出来ることは、皆様で手分けして出来る限り行えるように職員がサポートをしながら提供している。また利用者の方々の出来ないところを職員がお手伝いする事で「ありがたい。」の言葉が施設内に飛び交っています。例をあげると、洗濯物をたたむ、食事の支度や後方付けの手伝い、お掃除など、皆様積極的に手伝って下さっています。また「職員と利用者様は家族」という経営理念の一つを職員は常に守るよう心がけています。	日常生活全般で、利用者の方々が残存機能により出来ることは、皆様で手分けして出来る限り行えるように職員がサポートをしながら提供している。また利用者の方々の出来ないところを職員がお手伝いする事で「ありがたい。」の言葉が施設内に飛び交っています。例をあげると、洗濯物をたたむ、食事の支度や後方付けの手伝い、お掃除など、皆様積極的に手伝って下さっています。また「職員と利用者様は家族」という経営理念の一つを職員は常に守るよう心がけています。

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設での出来事や日常の様子をご家族の面会時や月1回の各々の担当職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう動いています。またご家族に協力を仰ぎ行っているご本人のニーズ対応(週1回の外出)や病院受診へのご協力などもしていただくことで、ご家族と一体になってのケアを実現しています。利用者様のちょっとした体調の変化に対しても、常にご連絡するようにしていくことで、ご家族と利用者様の繋がりを大切にしております。	施設での出来事や日常の様子をご家族の面会時や月1回の各々の担当職員からのお手紙でお伝えし、情報を共有できるよう動いています。またご家族に協力を仰ぎ行っているご本人のニーズ対応(週1回の外出)や病院受診へのご協力などもしていただくことで、ご家族と一体になってのケアを実現しています。利用者様のちょっとした体調の変化に対しても、常にご連絡するようにしていくことで、ご家族と利用者様の繋がりを大切にしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設として、誰でも来所しやすい施設になるように施設内の雰囲気につけています。その結果、ご友人が良く面会に来られる利用者様も沢山いらっしゃるし、来客は非常に多いです。しかし、ご家族との関係が悪くなり入居となった方もあり、先ずは、ご本人とご家族との関係改善に動いているケースもあるため、利用者によってケースバイケースではあります。施設としては支援に努めています。施設の支援のもと、昔からの馴染みの理容室に行く方もいらっしゃいます。	施設として、誰でも来所しやすい施設になるように施設内の雰囲気につけています。その結果、ご友人が良く面会に来られる利用者様も沢山いらっしゃるし、来客は非常に多いです。しかし、ご家族との関係が悪くなり入居となった方もあり、先ずは、ご本人とご家族との関係改善に動いているケースもあるため、利用者によってケースバイケースではあります。施設としては支援に努めています。施設の支援のもと、昔からの馴染みの理容室に行く方もいらっしゃいます。	友人・近所の人・毎日面会に来る家族等もいて、お茶を出して居室にてゆっくり話をしてもらえようように心がけている。家族と墓参りや友人と定期的に外食する利用者もいる。事業所から家族への電話の際は、利用者にもつなげて話す機会を作り家族との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	両足の無い方や、耳の遠い方、トイレが近く立たれる方、大きな声で歌う方などからいらっしゃいますが、9名全員が自室にも電灯も設置されているので、自分から望んでデイルームで他者と過ごすことを楽しんでいるようです。耳の悪い方には、職員が仲介役となり皆様の輪の中で過ごせるよう援助しています。日常生活(野菜の皮むきや、お皿拭きや、洗濯物をたたむなど)を協力してやっていただくことで仲良くいられるようです。	聾唖の男性や、耳が遠い方、徘徊する方、酸素が必要な女性など、一見コミュニケーションが難しい方もいらっしゃいますが、9名が仲良く生活できるように職員が声掛けしたりして、自室に暮らす事無く、お昼食をする方以外はデイルームで過ごしていらっしゃいます。日常生活(野菜の皮むきや、お皿拭きや、洗濯物をたたむなど)を協力してやっていただくことで仲良くいられるようです。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方は、ご家族を通じてご本人にお手紙を出すなどしながら、ご家族にも連絡を取りながらフォローしています。また、独居となっているご家族に対しては、時々連絡を取りながら、悩み事など伺いながらフォローしています。時々施設にも足を運んでくれています。	施設に入居していた利用者様で老衰で病院にて亡くなってしまった方の娘さんが、今でもボランティアで施設に来てくださったり、その際に思い出を話したりしながら寂しかったご家族への心のケアを心がけています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には、紙とペンを渡して思いを書いていただいたり、既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。	最大限に努力し、努めています。自分の思いを伝えられない利用者様には、紙とペンを渡して思いを書いていただいたり、既往歴や行動、言動からケアの検討をし、ご家族に説明し同意を得た上でケアを実施しています。聴覚障害のある利用者様の理解を深める為に、手話教室を開催し、手話を学ぶ機会を設けています。	理解力や判断力が低下しても思いを文字で表せる利用者も多い。夜、眠りつけずに大声を出す利用者やペンと紙を渡したところ「～に逢いたい」と思いを書いた。言葉や文字で伝えられない利用者は、日頃の関わりの中で思いを把握する様に心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでのサービス利用の経過等に関しては、入居時に職員全員で把握する様にしています。また、利用者様の普段の会話の中から出た思い出話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に、職員全体で共有し、経過支援記録に記載し、次期計画書作成時に役立つよう動いています。	これまでのサービス利用の経過等に関しては、入居時に職員全員で把握する様にしています。また、利用者様の普段の会話の中から出た思い出話や、ご家族よりその都度得た情報を大切に、職員全体で共有し、経過支援記録に記載し、次期計画書作成時に役立つよう動いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	認知症の方は日々、心身状態や有する力が違いますが、利用者様の一人一人の日々の現状を把握し職員同士で共有しています。また、個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手いといった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるような努めています。	認知症の方は日々、心身状態や有する力が違いますが、利用者様の一人一人の日々の現状を把握し職員同士で共有しています。また、個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。上手いといった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるような努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	行えていると考えています。ご本人、ご家族、必要な関係者の意見やアイデアは十分尊重して反映し介護計画を作成しております。また利用者様の状態に変化があった場合にはご家族に連絡をして介護計画を検討しています。	行えていると考えています。ご本人、ご家族、必要な関係者の意見やアイデアは十分尊重して反映し介護計画を作成しております。また利用者様の状態に変化があった場合にはご家族に連絡をして介護計画を検討しています。	入居する前に、ケアマネジャーが面接して情報を集め利用者・家族の意向を聞き介護計画を作成している。その後は、職員会議やケースカンファレンスにて職員の見解を聞き、3か月毎に見直ししているが、大きな変化があった時には速やかに計画を変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手いといった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるような努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。	個人介護記録にその日の変わった様子は記載しています。また上手いといった対応は、個人記録への記入と同時に、職員ノートを使い情報共有できるような努めています。また、毎週水曜日にカンファレンスを設け、職員に計画書の案に対する意見を聞きながら提案しています。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例によけると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具がある時は、業者を呼んでご家族と繋いでいます。施設内での美容室の対応もしております。お買い物がしたい利用者様の対応も個別にしております。	支援やサービスのニーズへの対応は積極的に行い、取り組んでいます。例によけると、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問診療、またご家族が定期受診に連れて行けない事情が発生した際は、職員が有料にて対応しています。必要とされる福祉用具がある時は、業者を呼んでご家族と繋いでいます。施設内での美容室の対応もしております。お買い物がしたい利用者様の対応も個別にしております。アレルギーのある方への個別の食事提供もしております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族が対応できる利用者様に関しては、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいております。また、難しい方に関しては、水曜日の午後のお買い物の時間を活用し昔馴染みのお店などに足を運べるよう援助しています。地域のボランティアの方々によって行われる、月に一回のイベントが利用者様の大きな楽しみの一つになっており、施設での生活を豊かにしていると思います。	ご家族が対応できる利用者様に関しては、ご家族も地域資源の一つとしてご協力頂き、外に出る援助をしていただいております。また、難しい方に関しては、水曜日の午後のお買い物の時間を活用し昔馴染みのお店などに足を運べるよう援助しています。地域のボランティアの方々によって行われる、月に一回のイベントが利用者様の大きな楽しみの一つになっており、施設での生活を豊かにしていると思います。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、施設で確認したいことは、ご家族にお手紙を持っていただいたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	協力病院はあるものの、ご本人及びご家族の望まれる病院での受診を優先しています。その際、施設で確認したいことは、ご家族にお手紙を持っていただいたり、ご家族の同意のもと医師に直接連絡し伺うこともございます。なるべく、ご本人のかかりつけ医に受診していただける様に、ご家族が受診対応出来ない場合には、有料ですが職員が対応できる体制を取っています。	全員が、希望するかかりつけ医に受診している。受診時付き添いの家族には、介護サマリーで情報提供し受診後は様子を伝えてもらい、その情報は職員間で共有している。家族・医師・事業所の判断で職員が付き添う時もある。必要に応じて、歯科医の訪問診療がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師や医師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、医療連携をとっていますので、十分出来ていると思います。	何か変わったことがあった際は、急を要さない限り看護師や医師に判断を仰ぎ対応しています。その際、ご家族には連絡を入れその事実を共有できるようにしています。グループホームには珍しく、医療連携をとっていますので、十分出来ていると思います。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院や他施設への移行があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し併せて、現場職員に口頭による情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。	入院や他施設への移行があった際は、その日のうちに介護サマリーを発行し併せて、現場職員に口頭による情報提供をしながら対応しています。また、いつでも遠慮せずお問い合わせ頂けるよう声掛けています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医より疾患の予後や、進行の兆候が見られた際は、ご本人及びご家族と施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を併合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取り迄行っている為、入居時と、利用者の体調や状況が変化する場合、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様にしています。	主治医より疾患の予後や、進行の兆候が見られた際は、ご本人及びご家族と施設での対応の限界を知っていただき、その他医療サービスの導入の検討にて補える部分を併合せ、どの段階で病院及び医療施設への移行をすべきか事前に検討会を行っている。当施設は看取り迄行っている為、入居時と、利用者の体調や状況が変化する場合、管理者、看護師同席にて看取りの詳しい指針をご家族から伺う様にしています。	身体的に重度になっても工夫して対応出来るが、医療的ケアが必要になった時は家族と十分な話し合いをして方針を決めている。今までに看取りの経験はないが、家族の意向を聞きながら看取りに近い状態で事業所での対応を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	介護ロボットを導入する事で、利用者様の呼吸状態や睡眠状態を把握できるようになり、急変に対応できるようになりました。介護ロボットで把握できない急変に対しても、施設にて職員全員が行った普通救命講習を復習したり、それ以降に入社した職員に対しては、地域で開催されている普通救命講習への参加を行い、事故発生時の対処法を学んでいたいです。緊急時の対応マニュアルも設けています。	介護ロボットを導入する事で、利用者様の呼吸状態や睡眠状態を把握できるようになり、急変に対応できるようになりました。介護ロボットで把握できない急変に対しても、施設にて職員全員が行った普通救命講習を復習したり、それ以降に入社した職員に対しては、地域で開催されている普通救命講習への参加を行い、事故発生時の対処法を学んでいたいです。緊急時の対応マニュアルも設けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3月、9月は、毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間・夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、「もしやが罹らなくなったら」など想定を変えたりしながら避難訓練の実技を行っています。また、トイレ・シャワーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。	3月、9月は、毎週土曜日を避難訓練の日とし、全職員が昼間・夜間帯に災害(火災、地震)が発生したことを想定し、その都度避難場所や、「もしやが罹らなくなったら」など想定を変えたりしながら避難訓練の実技を行っています。また、トイレ・シャワーや食料の備蓄や避難器具(ヘルメットや、夜間でも通報が鳴るラジオ)などの災害対策は行っています。	訓練月は、職員の勤務を考慮し全職員が参加できる様にしている。また、毎回出火場所や内容を変えたり、その日に訓練内容を知らせる等して職員が臨機応変な対応が出来る様な訓練にしている。終了後は、報告書を作成し次の訓練に活かしている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の居室に入る際には、「○○さん、お部屋に入っても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーを損ねない様に心がけています。またスピーカーロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	利用者様の居室に入る際には、「○○さん、お部屋に入っても良いですか?」と必ず声掛けをしています。日々の支援時にも、利用者様のプライバシーを損ねない様に心がけています。またスピーカーロックについて現在職員と学んでいます。その都度、気になる言葉に関しては職員が声を掛けお互いに注意しあうようにしています。	居室には名札はなく、入り口にある利用者好みの暖簾が目印になっている。各利用者の障害部分については周りから目につかないような配慮をしている。基本的には利用者は人生の先輩であるという事を意識して支援している。	

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム「アルプスのなかまたち」**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティなど、1日のうち活動はたくさんありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に提供しています。食事、就寝にも自己決定を大切にしながら、毎日の生活をしていただけていると思います。	利用者様本位の生活を優先しています。お手伝いや、運動や、アクティビティなど、1日のうち活動はたくさんありますが、取り組みたいものなど自己決定を大切に提供しています。食事、就寝にも自己決定を大切にしながら、毎日の生活をしていただけていると思います。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合は優先しないで、まずは利用者様のそれぞれのペースをとても大切に生活しています。利用者様方の家事やアクティビティ、体操への参加が習慣となっており、声掛けは行っていますが、自主的に参加して下さっています。皆様それぞれのペースで、参加しているものと思います。また、食事や就寝も個人のペースを大切にしております。	職員側の決まりや都合は優先しないで、まずは利用者様のそれぞれのペースをとても大切に生活しています。1日の活動に気が向いたら参加という方もいらっしゃるため、声掛けを行い、自主性を重視しています。家事には参加しないがアクティビティには参加するなど、自己決定のもと生活しています。食事や就寝も個人のペースを大切にしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢を設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですわね」などと誉める様にしています。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます	洋服を自分で決められない方に対しては、選択肢を設け決めやすい援助を行ったり、利用者様の洋服を「素敵ですわね」などと誉める様にしています。誉められると利用者様も嬉しい笑顔を見せて下さいます。また、白髪染めやカットなど、美容師さんに来ていただき、施設内で対応していますので、皆さん思い思いの髪型にしてお洒落を楽しんでいます		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	主食となるお米に力を入れており最上級のお米を提供しております。昼食、夕食に関しては今日はどんな料理を作ろうか利用者様と相談しながら、希望を取り入れ、調理下ごしらえから盛り付け、片付けまで皆様と分担して取り組む事で自宅に居る様な生活を楽しくいただいております。食事の食話が楽しくなり更に美味しい様で、利用者様と一緒に食事作りを行う事で「御飯が美味しい」と言われる様になりました。また職員も利用者様と一緒に着席し、食事を取ることで家族のような絆が作れていると思います。	主食となるお米に力を入れており最上級のお米を提供しております。昼食、夕食に関しては今日はどんな料理を作ろうか利用者様と相談しながら、希望を取り入れ、調理下ごしらえから盛り付け、片付けまで皆様と分担して取り組む事で自宅に居る様な生活を楽しくいただいております。食事の食話が楽しくなり更に美味しい様で、利用者様と一緒に食事作りを行う事で「御飯が美味しい」と言われる様になりました。また職員も利用者様と一緒に着席し、食事を取ることで家族のような絆が作れていると思います。	あえて献立表は作成していないが、正月のお餅やおせち等家庭での行事食は取り入れている。普通の家と同じ様に事業所内にある物で利用者と話し合っって献立を決め材料がなくなったら買い物に行っている。野菜の皮むきや切る等出来る事は利用者が行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量はチェックしますが水分は、摂取に制限がある方のみチェックシートを活用し、他の方は自由にお茶が飲めるようにポットとお茶の葉をテイルームに置いてあります。現在しっかり食事、水分を摂ってくださる方ばかりなのであまり気にしていません。バイタルの変化にて水分を勧めることはございます。	皆様、体重の増減は安定しています。水分摂取のチェックシートは必要の方のみ利用しています。野菜中心でバランスが良いため便秘解消につながっているケースもあります。自由にお茶が飲めるようにポットとお茶の葉をテイルームに置いてあります。コーヒーが好きな方は、ご家族が買ってきてくださったコーヒーを毎日飲まれる方もいらっしゃいます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいております。1名義歯を外すと、落ち着かなる利用者様がおり、話し合いにて装着したまま休まれる方もいます。	日中は、毎食、食事の後に、その方に必要な援助にて対応させていただいています。夕食後の口腔ケアの後、夜間の義歯管理は職員が行わせていただいております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	行っています。失禁のタイプにもよりますが腹圧性の方に対しては、こまめに声掛けを行い対応し、日々の観察の中から、排泄パターンやサインを見つけ対応しています。オムツをはかれた状態でも入所された方でも時限を見て、布パンツと尿取パットへトイレット成功された方もあります。身体機能が低下した方の為に右側部分が広いトイレと、左側部分が広いトイレがあります。	行っています。失禁のタイプにもよりますが腹圧性の方に対しては、こまめに声掛けを行いながら対応しています。日々の観察の中から、排泄パターンやサインを見つけて対応しています。身体機能が低下した方の為に右側部分が広いトイレと、左側部分が広いトイレがあります。	排泄チェック表を作成し、利用者毎の排泄時間を把握して対応している。日中は、トイレでの排泄を進めており夜間のみオムツを使用している利用者もポータブルトイレを使い時間を決めて誘導する等排泄の自立に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活の中で野菜中心の食事の中で、食から腸へのアプローチや、個人個人に残された機能を使った運動の提供、水分摂取の促しなど、予防に取り組んでいます。また訪問マッサージで腸の活性化を図っている方もいます。便秘症にて下剤を処方されている方もございますが、腹部マッサージなど行いながら出来るだけ自然に排泄できるよう努力しています。	日常生活の中で野菜中心の食事の中で、食から腸へのアプローチや、個人個人に残された機能を使った運動の提供、水分摂取の促しなど、予防に取り組んでいます。また訪問マッサージで腸の活性化を図っている方もいます。便秘症にて下剤を処方されている方もございますが、腹部マッサージなど行いながら出来るだけ自然に排泄できるよう努力しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合わせた支援をしている	月・水曜日を基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。声掛けはありますが見られていないので、個々に浴していると言えらるのではと考えています。また、個人個人が好むシャンプーやソープを使って入浴していらっしゃるものも個々に浴していると考えております。	火・金曜日を基本の入浴日とし、汗をかいたり、汚れてしまった際は、個々に入浴を提供する形をとっています。拒否される方もありますが、声掛けの工夫や、入浴剤の活用、気が向いた時に提供できるようにしながら、気持ちいい入浴が出来るよう努力しています。また順番にこだわる方にも、希望の順番で対応したり、個人個人が好むのシャンプーやソープを使ったりしております。	入浴日は決めているが毎日入浴準備をしている。浴室は、広くて明るく必要な手すりもついて使いやすい様に工夫されている。浴槽は両側から入れるようになっており、重度化した利用者は職員二人で対応出来る。男性職員が多いので同性介護の対応は可能であるが今まで利用者からの要望はない。	

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 グループホーム「アルプスのなかまたち」

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1ユニット)	ユニット名(2ユニット)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は21時としていますが、個々の希望尊重しています。見たいテレビがあるときは当然遅くなりますし、寝付けない時は職員が話し相手になったりし、気持ちを落ち着けて安眠出来る様に対応しています。よって支援出来ていると思います。就寝時間は、個人の希望に任せているため、日によって変わります。また、お昼寝を希望される方には希望どりに休息できるように対応しています。安眠が難しい方に対しては夜間に介護ロボットを導入することで安眠の様子が分かる様になりました。	就寝時間は21時としていますが、個々の希望尊重しています。見たいテレビがあるときは当然遅くなりますし、寝付けない時は職員が話し相手になったりし、気持ちを落ち着けて安眠出来る様に対応しています。よって支援出来ていると思います。就寝時間は、個人の希望に任せているため、日によって変わります。また、お昼寝を希望される方には希望どりに休息できるように対応しています。安眠が難しい方に対しては夜間に介護ロボットを導入することで安眠の様子が分かる様になりました。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。	看護師指導のもと薬の理解を他の職員もする様にし、変化が見られるときは、ご家族を通じ主治医に状況を伝えられるようにしています。処方薬との食べ合わせが悪いものに関しては事前に職員内で周知できるよう職員ノートを活用し対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	皆様、個々では集中力が続かず、皆様と同じことを行うことを好まれています。個々の能力から何らかの役割を持っていただき、張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に援助しています。体操やアクティビティ、散歩などを提供したり、差し入れの嗜好品を食へながら興味だったゲームを吹いたり、歌を唄ったり、積極性や笑顔が沢山見られています。また、利用者様が、いつも好きな時にお茶が飲める様にティールームにお茶のポットが置いてあります。	個々の能力から何らかの役割を持っていただき、張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に、援助しています。体操やアクティビティ、散歩などを提供したり、読書が好きの方が多く読書をしたり、積極性や笑顔が沢山見られています。また、利用者様が、いつも好きな時にお茶が飲める様にティールームにお茶のポットが置いてあります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日用品が切れた時は、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものを優先してお買い物に出かける援助を行っています。希望があれば、お菓子屋に寄って食べて頂くこともございます。また、ご家族の協力のもと、定期的な外食へ連れて行っていらっしゃる方もいます。また、散歩をした方などには、夏は暑すぎない日、冬は寒すぎない日を見計らいながら職員が付き添い、その方に合わせて気分転換をしています。外出できる方には季節ごとの景色が見れる場所へのドライブもして行きます。	日用品が切れた時は、毎週水曜日の午後をお買い物の日とし、必要なものを優先してお買い物に出かける援助を行っています。希望があれば、お菓子屋の床屋やお店の買物希望される方へ入浴がない日を使い援助させて頂いています。また、定期的な友人と外食を楽しむ機会を継続できるよう援助している方もあります。草取りや水やりをしたい方は職員付き添いで行ってきます。また、散歩をしたい方などには、夏は暑すぎない日、冬は寒すぎない日を見計らいながら職員が付き添い、その方に合わせて気分転換をしています。外出できる方には季節ごとの景色が見れる場所へのドライブもして行きます。	リビングからスロープを歩いて中庭に出られる。中庭には花や野菜が植えてあり、気候のよい時は職員と一緒に中庭のお茶のみをしている。中庭を含めて敷地全体を、柵で囲んであるが拘束感はなく安心して外気浴が楽しめる。桜の季節は花見に出かけたり、紅葉を見にドライブに行く等季節が感じられる外出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全ての利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理してお金を預かるよう頼まれています。毎週水曜日の午後に必要なものがある方を優先しながら順番でお買いものに出ています。毎週水曜日以外で利用者様が欲しい物がある場合には職員が随時対応しております。また、利用者様から頼まれた職員が代わりに買い物に行ったりもしています。	自己管理でお金を持たれている方が一名いますが、その他の利用者様は、ご家族の希望により、施設で管理してお金を預かるよう頼まれています。毎週水曜日の午後に必要なものがある方を優先しながら順番でお買いものに出ています。毎週水曜日以外で、利用者様が欲しい物がある場合には、職員が随時対応しています。また利用者様から頼まれた職員が代わりに買い物に行ったりもしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望者に対しては電話の使用など援助しています。お手紙は、面倒くさがる方が多いですが、七夕の短冊や年賀状などを書く機会には、利用者様にご家族へのメッセージを書いていただいたり、書けない利用者様に対しては職員が思いを聞いて代筆したりしながら、ご家族にご本人の気持ちや伝わるよう援助しています。毎日のようにご家族の方からハガキが届く方もいらっしゃいます。	希望者に対しては電話の使用など援助しています。お手紙は、面倒くさがる方が多いですが、七夕の短冊や年賀状などを書く機会には、利用者様にご家族へのメッセージを書いていただいたり、書けない利用者様に対しては職員が思いを聞いて代筆したりしながら、ご家族にご本人の気持ちや伝わるよう援助しています。毎日のようにご家族の方からハガキが届く方もいらっしゃいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の部屋の理解やプライバシー保護の為、入居時自宅より暖房をお持ち頂き自室前にかけるようにし、天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々としていて、常に清潔にしています。居間は音楽を流したりして心地よい空間を作っています。壁には、利用者様が作った作品などを飾って、暖かい雰囲気を作っています。浴室も明るく温かく温泉の様な雰囲気を出しています。また、廊下でいつでも一休み出来る様に、畳のベンチを3箇所置いて、居心地良い空間作りを行っています。お部屋やティールームから見える家庭菜園や庭の花なども季節感を感ぜさせてくれます。	自分の部屋の理解やプライバシー保護の為、入居時自宅より暖房をお持ち頂き自室前にかけるようにし、天窓を沢山設けて明るく保ち、共有部分は無駄な物を置かず広々としていて、常に清潔にしています。居間は音楽を流したりして心地よい空間を作っています。壁には、利用者様が作った作品などを飾って、暖かい雰囲気を作っています。浴室も明るく温かく温泉の様な雰囲気を出しています。また、廊下でいつでも一休み出来る様に、畳のベンチを3箇所置いて、居心地良い空間作りを行っています。お部屋やティールームから見える家庭菜園や庭の花なども季節感を感ぜさせてくれます。	廊下の天井12箇所にある天窓は、明り取りと空気の流れ替えに役立っている。また、廊下に置かれた3か所の畳のベンチは、利用者同士が寄り添って座れて心のおれあいの場となっている。リビングには、クリスマスや正月・ひなまつり等の季節感のある飾りつけはするが、必要以上の物は飾らず落ち着いた雰囲気の中で居心地よく過ごせる様に配慮してある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話する方や、廊下の畳のベンチに座ったり話したりする方、ティールームのマッサージ器でマッサージをしたり、手紙のベンチに座って賞状など、利用者様が思い思いに過ごされています。また、ティールームの縁の配置も、気の合った利用者様同士での席の配置を心がけております。	共用空間以外では、仲良しの方の部屋でお話する方や、廊下の畳のベンチに座ったり話したりする方、ティールームのマッサージ器でマッサージをしたり、手紙のベンチに座って賞状など、利用者様が思い思いに過ごされています。また、ティールームの縁の配置も、気の合った利用者様同士での席の配置を心がけております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、使ったご主人の写真など、お気に入りの絵など、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に入居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まない方もいます。	各々自由に居室をアレンジしていただき、馴染みのある寝具、家具などは、なるべく持ち込んでいただき、心地よく住めるように努めています。ご自分専用の電化製品や、使ったご主人の写真など、お気に入りの絵など、思い出の品を持ち込んで、本当の自宅の様に入居していらっしゃる方もいます。反対に、寝具以外持ち込まない方もいます。	エアコン・ベッド・整理ダンス・机・椅子・カーテンは事業所で用意してある。明るく広い居室に各自がテレビ・冷蔵庫・仏壇や位牌・家族の写真や好きな絵等を自由に持ち込み好みの居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	少しでもできるのにやっていたりなかった事また、できるのにやる機会に恵まれていなかったことに目を向け自立できることを増やせるよう援助しています。少しだけ出来る事は支援し、少しでも出来る事に徐々に、建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がると手伝いをしています。手すり、畳のベンチなどを使いなるべく自分で歩けるように、疲れたら休めるベンチと、途切れない手すりの配置をしています。デッキのベンチに座る事で外出気分も利用者自身が味わえるようにしています。	少しでもできるのにやっていたりなかった事また、できるのにやる機会に恵まれていなかったことに目を向け自立できることを増やせるよう援助しています。少しだけ出来る事は支援し、少しでも出来る事に徐々に、建物内部のトイレや居室にナースコールを付けて、困った事の自立に繋がると手伝いをしています。手すり、畳のベンチなどを使いなるべく自分で歩けるように、疲れたら休めるベンチと、途切れない手すりの配置をしています。デッキのベンチに座る事で外出気分も利用者自身が味わえるようにしています。		